

委託事業実施内容報告書
平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（B）】
実施内容報告書

受託団体名：NPO 法人日本ボリビア人協会

1. 事業名称

- ・「生活者としての外国人」のための日本語教育通信講座普及事業～スペイン語版～

2. 事業の目的

・昨年度、三重県津市において実施した『生活者としての外国人』のための日本語教育通信講座モデル事業～スペイン語版～（平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業―地域日本語教育実践プログラム(B)）の成果と課題を踏まえて改訂版を実施するとともに、次いでニーズの高かった愛知県知多市において事業を実施し、成果の普及を図る。また、スペイン語以外の言語で同プログラムの実施を希望する地域に対し、運営や教材開発等のノウハウを普及する。

3. 事業内容の概要

・昨年度の反省を踏まえて、今年度は知多市内に住むボリビア人のキーパーソン（南米飲食店経営者）と、市内日本語教室の協力を得ることができたことで、同市在住者を中心として日本語通信講座の実施が可能となった。スクーリングを地元の日本語教室ボランティアに依頼し、また受講者には通常の教室活動への参加を促すことで南米出身者に教室の存在を広め、「自宅学習と教室学習の選択・組合せ」という学習環境の充実を図る。同時に、今後、地元の教室関係者が自前で通信講座の実施が可能となるように、ノウハウを提供していく。

4. 事業の実施体制について

- ・愛知県、三重県、知多市：イベント後援・広報協力（予定）
- ・（公財）愛知県国際交流協会、（公財）三重県国際交流財団：広報協力、運営委員、地域情報の提供等（予定）
- ・（株）ラーンズ：教材作成、通信教育ノウハウの提供等
- ・（特活）多文化共生リソースセンター東海：日本語教室運営アドバイス、各種情報提供等

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	川崎徹夫	知多市市民協働課
2	藤井修	知多市にほんごの会
3	谷口静子	知多市にほんごの会
4	竹内綾	ちたビジョンプロジェクト
5	フィデル・セルナ・ノンクラードス	ラティーノス
6	岸晴苗	四日市大学

7	西川美帆	(公財)四日市まちづくり財団
8	山田ロサリオ	NPO 法人日本ボリビア人協会
9	土井佳彦	NPO 法人日本ボリビア人協会
10		

【概要】

回	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成 27 年 4 月 30 日(木) 10:00-12:00	2 時間	知多市市民活動センター	川崎徹夫、藤井修、 竹内綾、山田ロサリオ、 土井佳彦	1. 事業概要説明 2. 講座運営方法、役割分担、会場確保等 3. 今後の連絡方法等
2	平成 27 年 4 月 30 日(木) 18:30-20:30	2 時間	アスト津	岸晴苗、西川美帆、 山田ロサリオ、土井 佳彦	1. 事業概要説明 2. 講座運営方法、役割分担、会場確保等 3. 今後の連絡方法等
3					

6. 取組についての報告

取組1:通信講座「新版:家で学べる生活日本語～スペイン語版～」

1. 津市(初級コース)

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・基礎漢字の習得、生活日本語・社会知識の習得
- ・昨年に続く7～12号を取組2で開発した上で実施。

(2) 取組内容

- ・第7号 ひらがな・カタカナ復習、求職時・職場での語彙・表現、小テスト
- 第8号 ひらがな・カタカナ復習、学校生活での語彙・表現、小テスト
- 第9号 ひらがな・カタカナ復習、銀行・郵便局での語彙・表現、小テスト
- 第10号 ひらがな・カタカナ復習、旅行・交通機関の語彙・表現、小テスト
- 第11号 ひらがな・カタカナ復習、パソコン・SNSの語彙・表現、小テスト
- 第12号 復習、まとめ
- ・スクーリング(2時間×3回)

(3) 対象者

- ・三重県・愛知県在住の外国人(スペイン語圏)

(4) 参加者の総数 18 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載 そのうちの日本語学習者数 18 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
0	0	1	0	0	0	0	3	0	0

※その他の国籍と人数:ボリビア 13、チリ 1

(5) 開催時間数(回数)

- ・ 18 時間 (2 時間 × 全 9 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 6 月 14 日(日) 15:00-17:00	2 時間	アスト津	18 人	第 1 回スクーリング	オリエンテーション、プレースメントテスト	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
2	平成 27 年 7 月 11 日(土) 10:00-12:00	2 時間	アスト津	3 人	第 7 号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
3	平成 27 年 8 月 8 日(土) 10:00-12:00	2 時間	アスト津	3 人	第 8 号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
4	平成 27 年 9 月 6 日(日) 15:00-17:00	2 時間	アスト津	9 人	第 2 回スクーリング	復習	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
5	平成 27 年 9 月 12 日(土) 10:00-12:00	2 時間	アスト津	3 人	第 9 号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
6	平成 27 年 10 月 10 日(土) 10:00-12:00	2 時間	アスト津	3 人	第 10 号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
7	平成 27 年 11 月 14 日(土) 10:00-12:00	2 時間	アスト津	3 人	第 11 号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
8	平成 27 年 12 月 12 日(土) 10:00-12:00	2 時間	アスト津	3 人	第 12 号添削	添削、コメント	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
9	平成 27 年 12 月 20 日(日) 15:00-17:00	2 時間	アスト津	9 人	第 3 回スクーリング	復習、アチーブメントテスト、修了式	岸晴苗、西川美帆	山田ロサリオ
10								

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

【第 1 回 2015 年 6 月 14 日】 第 1 回スクーリング(講座開始) 15:00～開講あいさつ 15:10～スタッフ紹介 15:20～講座概要・教材説明 15:50～プレースメントテスト 16:30～採点・個別相談 17:00 終了、片付け



取組事例②

【第3回 2015年9月6日】

第2回スクーリング

15:00～流れ等説明

15:10～復習①語彙

15:20～復習②文法(～たい、～より～ほうが)

16:10～復習③文字(ひらがな・カタカナのディクテーション)

16:30～質疑応答、個別相談

17:00 終了、片付け



(8) 目標の達成状況・成果

・プレースメントテスト(開始時)とアチーブメントテスト(終了時)の比較

No.	プレースメントテスト	アチーブメントテスト	No.	プレースメントテスト	アチーブメントテスト
1	10	11	11	29	—
2	84	90	12	14	
3	14	20	13	0	5
4	15	20	14	19	54
5	—	—	15	25	
6	1	4	16	90	—
7	5	—	17	5	28
8	5	—	18	31	24
9	3	—			
10	27	—			

・受講者の感想・意見

○教材について

・日常生活に役立つ内容になっている

- ・日常生活で日本語を書くことはない
- ・漢字にルビがふってあるのは助かる
- ・日常生活で日本人と話す機会がないので、学んでも覚えられない／使えない
- ・web にいろんな生活情報をアップして、いつでも見られるようにしてほしい
- ・ひらがな・カタカナの練習を増やしてほしい(入門コースを受けていない人)
- ・イラストと合わせて、漢字を勉強したい(象形文字)
- ・もっと会話をしたい
- ・これ以上スクーリングが増えると、参加するのは難しい(スクーリングが必須になると、受講自体が難しくなる)
- ・もっとレベルを易しくしてほしい
- ・「漢字表」もほしい
- ・いつでも質問できるような「受付コーナー」を設けてほしい

○今後学びたいこと

- ・交通(市バス)
- ・旅行(ネットでの調べ方)
- ・仕事(法制度)
- ・料理(日本料理の作り方)
- ・動詞の活用

(9) 今後の改善点について

- ・最終回のアチーブメントテスト実施日は、年度末で職場が繁忙期に入っていることから参加者が少なくなってしまうので、参加しやすい実施時期等の再検討が必要。
- ・後述する知多市のように、地元自治体や国際交流協会、ボランティア等の巻き込み(情報提供等)ができるようになった。

2. 知多市(入門コース)

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・ひらがな、カタカナ、基礎漢字の習得、生活日本語・社会知識の習得
- ・昨年度作成した1～6号を改良した上で実施。
- ・通信講座と既存のボランティア教室との連携のあり方を検討・実施。

(2) 取組内容

- ・第1号 ひらがな、あいさつ、小テスト
- 第2号 カタカナ、日付、時間、値段、小テスト
- 第3号 ひらがな・カタカナ復習、買い物時の語彙・表現、小テスト
- 第4号 ひらがな・カタカナ復習、娯楽施設の語彙・表現、日本の祝祭日、年中行事、小テスト
- 第5号 ひらがな・カタカナ復習、病院・薬局での語彙・表現、医療通訳・多言語問診票、小テスト
- 第6号 ひらがな・カタカナ復習、緊急時・災害時の語彙・表現、避難準備情報、防災メール、小テスト
- ・スクーリング(2 時間×3 回)

(3) 対象者

- ・三重県・愛知県在住の外国人(スペイン語圏)

(4) 参加者の総数 17 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 17 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
0	0	0	0	0	0	0	3	0	0

※その他の国籍と人数:ボリビア 14

(5) 開催時間数(回数)

・ 時間 (時間 × 全 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 6 月 14 日(日) 10:00-12:00	2 時間	朝倉団地 集会所	14 人	第1回スク ーリング	オリエンテーション、プレース メントテスト	谷口静子、 藤井修	ローナ・ロハ ス・スー、フィ ル・セルナ・ノン クラウドス、山 田ロサリオ、竹 内綾
2	平成 27 年 7 月 11 日(土) 18:00-20:00	2 時間	ちたビジョン プロジェクト 事務所	3 人	第 1 号添削	添削、コメント	谷口静子、 藤井修	ローナ・ロハ ス・スー、フィ ル・セルナ・ノン クラウドス、山 田ロサリオ、竹 内綾
3	平成 27 年 8 月 8 日(土) 18:00-20:00	2 時間	ちたビジョン プロジェクト 事務所	3 人	第 2 号添削	添削、コメント	谷口静子、 藤井修	ローナ・ロハ ス・スー、フィ ル・セルナ・ノン クラウドス、竹 内綾
4	平成 27 年 9 月 12 日(土) 18:00-20:00	2 時間	ちたビジョン プロジェクト 事務所	3 人	第 3 号添削	添削、コメント	谷口静子、 藤井修	ローナ・ロハ ス・スー、フィ ル・セルナ・ノン クラウドス、竹 内綾
5	平成 27 年 10 月 10 日(土) 18:00-20:00	2 時間	ちたビジョン プロジェクト 事務所	3 人	第 4 号添削	添削、コメント	谷口静子、 藤井修	ローナ・ロハ ス・スー、フィ ル・セルナ・ノン クラウドス、竹 内綾
6	平成 27 年 10 月 18 日(日) 10:00-12:00	2 時間	朝倉団地 集会所	7 人	第 2 回スク ーリング	復習	谷口静子、 藤井修	ローナ・ロハ ス・スー、フィ ル・セルナ・ノン クラウドス、山 田ロサリオ、竹 内綾
7	平成 27 年 11 月 14 日(土) 18:00-20:00	2 時間	ちたビジョン プロジェクト 事務所	3 人	第 5 号添削	添削、コメント	谷口静子、 藤井修	ローナ・ロハ ス・スー、フィ ル・セルナ・ノン クラウドス、竹 内綾
8	平成 27 年 12 月 12 日(土) 18:00-20:00	2 時間	ちたビジョン プロジェクト 事務所	3 人	第 6 号添削	添削、コメント	谷口静子、 藤井修	ローナ・ロハ ス・スー、フィ ル・セルナ・ノン クラウドス、山 田ロサリオ、竹

								内綾
9	平成 27 年 12 月 13 日(日) 10:00-12:00	2 時間	朝倉団地 集会所	7 人	第 3 回スク ーリング	復習、アチーブメントテスト、 修了式	谷口静子、 藤井修	ローナ・ロハ ス・スー、フィデ ル・セルナ・ノン クラードス、山 田ロサリオ、竹 内綾

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

【第 1 回 2015 年 6 月 14 日】

第1回スクーリング(講座開始)

15:00～開講あいさつ

15:10～スタッフ紹介

15:20～講座概要・教材説明

15:50～プレースメントテスト

16:30～採点・個別相談

17:00 終了、片付け



取組事例②

【第 3 回 2015 年 12 月 20 日】

第 3 回スクーリング

15:00～流れ等説明

15:10～復習①語彙、文法

16:00～アチーブメント・テスト

16:40～質疑応答、個別相談

17:00 終了、片付け



(8) 目標の達成状況・成果

・プレースメントテスト(開始時)とアチーブメントテスト(終了時)の比較

No.	プレースメントテスト	アチーブメントテスト	No.	プレースメントテスト	アチーブメントテスト
1	33	92	11	0	－
2	－	57	12	0	－
3	35	－	13	18	71
4	0	21	14	3	－
5	0	24	15	19	37
6	3	－			
7	0	－			
8	0	22			
9	0	－			
10	0	－			

(9) 今後の改善点について

・津市と異なり、ボリビア人のコミュニティがないため、津市以上に一人ひとりへの定期的な声かけ等を通じたモチベーションの維持・向上が必要。

・日本語学習自体が初めてという人も多かったので、自宅学習だけでなく、近隣の日本語教室への参加も促し、学習に慣れてもらう環境作りも強めたい。

取組2: 通信講座用教材「新版: 家で学べる生活日本語～スペイン語版～」(vol.7～12)の開発

(1) 体制整備に向けた取組の目標

・昨年度開発した「家で学べる生活日本語～スペイン語版～」(vol.1～6)に新たに5つのテーマを追加し(vol.7～11)、まとめ(vol.12)と合わせて初級コースの教材・カリキュラムとする。あわせて、1年間の通信講座プログラムを確立させる。入門・初級のいずれにおいても、各号のタスクに、近隣および職場等で接する日本人または公共施設や商店等で実際に日本人とのコミュニケーションを促す「チャレンジ」という項目を入れることで、単なる書き込み式ではないオリジナル教材とする。

(2) 取組内容

- ・第7号 ひらがな・カタカナ復習、求職時・職場での語彙・表現、小テスト
- 第8号 ひらがな・カタカナ復習、学校生活での語彙・表現、小テスト
- 第9号 ひらがな・カタカナ復習、銀行・郵便局での語彙・表現、小テスト
- 第10号 ひらがな・カタカナ復習、旅行・交通機関の語彙・表現、小テスト
- 第11号 ひらがな・カタカナ復習、パソコン・SNSの語彙・表現、小テスト
- 第12号 復習、まとめ

(3) 対象者

- ・三重県・愛知県在住の外国人(スペイン語圏)

(4) 参加者の総数 4 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 0 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

※その他の国籍と人数: ボリビア 1

(5) 開催時間数(回数)

・ 8 時間 (3, 5 時間 × 全 2 回)

(6) 活動の内容

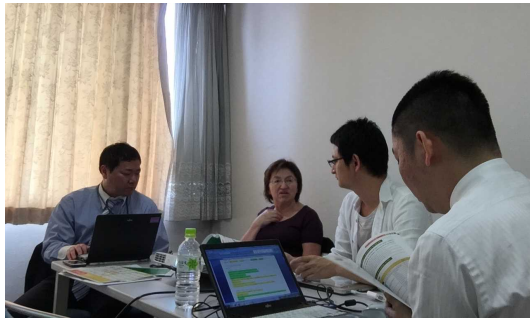
回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	参加者名	補助者名
1	平成 27 年 4 月 28 日(火) 10:30-12:00/13:00-16:30	5 時間	岡山国際交流センター	4 人	初級コースのテーマ等決定	初級コース(vol.7～12)のテーマや内容の決定、入門コース(vol.1～6)の修正点確認	石井文司、 中原繁樹、 山田ロサリオ、土井佳彦	
2	平成 28 年 3 月 16 日(水): 11:00～14:00	3 時間	YWCA ビル	4 人	動画教材等について	H27 年度通信講座の改善点をもとに H28 年度の同講座に動画教材を加える事を検討	石井文司、 藤岡博孝、 山田ロサリオ、土井佳彦	

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

【第1回 2015 年 4 月 28 日】

- ・vol.7～12 のテーマおよび具体的な学習項目の検討
- ・スケジュールと作業分担等の確認



取組事例②

【第2回 2016年3月16日】

- ・vol.7～12の改善点について(学習者の意見から)
- ・動画教材作成について検討

* 写真撮り忘れ

(8) 目標の達成状況・成果

- ・予定どおり、vol.7～12が完成した。
- ・内容等については、学習者より以下の意見を得た。

○教材について

- ・日常生活に役立つ内容になっている
- ・日常生活で日本語を書くことはない
- ・漢字にルビがふってあるのは助かる
- ・日常生活で日本人と話す機会がないので、学んでも覚えられない／使えない
- ・webにいろんな生活情報をアップして、いつでも見られるようにしてほしい
- ・ひらがな・カタカナの練習を増やしてほしい(入門コースを受けていない人)
- ・イラストと合わせて、漢字を勉強したい(象形文字)
- ・もっと会話をしたい
- ・もっとレベルを易しくしてほしい
- ・「漢字表」もほしい
- ・スペイン語訳のまちがいがある
- ・ひらがな・カタカナが十分に読めない人には難しい
- ・内容が難しい
- ・もっとスモールステップにしてほしい(vol.3以降、急に難しくなる)
- ・もっと勉強したい人用の追加宿題を出してほしい(→webからDL)

(9) 今後の改善点について

- ・既存の教材については、本国での学歴が低い(高卒以下)人のことも考えて、できるだけ簡単なスペイン語に訳すようにするとともに、誤訳をチェックして修正する。
- ・既存の教材・内容だけでは物足りない人のために、副教材や追加の練習帳などを作成する。
- ・スクーリングへの参加が難しい人のために、動画教材を作成し、ウェブサイトにアップする。

取組3: 日本語教育シンポジウム「もう一つの地域日本語教育の可能性～通信講座の成果と課題～in あいち」

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・本事業の成果と課題を広く地域日本語教育に携わる者(自治体、国際交流協会、NPO/NGO、日本語教育機関関係者、日本語ボランティア、在住外国人等)と共有する
- ・今後の日本語教育通信講座の継続発展に向けて、改善点等を得る

(2) 取組内容

- ・開会あいさつ
- ・団体紹介
- ・日本語教育通信講座の成果報告について
開発経緯、本事業の取組み、成果と課題、今後の展望
- ・実施・開発協力者および利用者の感想
- ・参加者との意見交換
- ・閉会あいさつ

(3) 対象者

- ・愛知県および近隣の地域日本語教育関係者(自治体、国際交流協会、NPO/NGO、日本語教育機関関係者、日本語ボランティア、在住外国人等)

(4) 参加者の総数 16 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 0 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
0	0	0	0	0	0	0	1	0	

※その他の国籍と人数:15

(5) 開催時間数(回数)

・ 3 時間 (3 時間 × 全 1 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	概要	発表者名	司会者名
1	平成 28 年 2 月 21 日(日) 14:00-17:00	2.75 時間	日本福祉大 学東海キャンパス	16 人	通信講座の 成果と課題 の共有等	開会あいさつ、団体紹介、日本語教育通信講座の成果報告について、実施・開発協力者および利用者の感想、参加者との意見交換、閉会あいさつ	川崎徹夫、 藤井修、谷 口 静子、石 井 文司、山 田ロサリオ、 (通訳)ロー レーナ ロ ハススー	土井佳彦

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

【2016 年 2 月 21 日】

14:00～開会あいさつ

14:20～知多市の外国人状況と日本語教育事情

14:40～事業報告、質疑応答、意見交換

16:25～閉会あいさつ

16:30～交流タイム

17:00 終了、片付け



(8) 目標の達成状況・成果

- ・50 人程度を目標にしたが、1/3 程度の参加にとどまった。一方で、昨年度、津で開催したときには参加されなかった方々(愛知・岐阜)にご参加いただけたことから、少人数であっても各地で開催し、本取り組みを紹介することの意義を感じた。
- ・参加者アンケートを通じて、全員から「自分の地域にも通信講座があればよいと思った」という回答を得た。

(9) 今後の改善点について

- ・より多くの人に本取り組みを知ってもらうため、開催時期や場所、広報のあり方等を再検討したい。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

・昨年度、三重県津市において実施した「『生活者としての外国人』のための日本語教育通信講座モデル事業～スペイン語版～」(平成 26 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業－地域日本語教育実践プログラム(B))の成果と課題を踏まえて改訂版を実施するとともに、次いでニーズの高かった愛知県知多市において事業を実施し、成果の普及を図る。また、スペイン語以外の言語で同プログラムの実施を希望する地域に対し、運営や教材開発等のノウハウを普及する。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

・日本語力については、受講者のほぼ全員に向上が見られた。
・教材作成については、予定どおりのものを作成することができた。
・知多市での通信講座実施にあたっては、知多市(市民活動推進課)、ちたビジョンプロジェクト、知多市にほんごの会等、地元の関係者の協力を得ることができた。

(3) 地域における事業の効果、成果

・日本語学習機会が限られた地域で、地元の協力も得て新たな学習機会を提供することができた。
・津市から知多市へと通信講座の実施に関するノウハウを提供することができた。
・他地域への展開において必要なこと(人材、場所等)とポイント(地元関係者の理解や協力等)がわかった。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果

・開催地の自治体からは、行政情報(各種案内チラシ)の提供を得た。
・開催地の既存の日本語教室からは、スクーリングの講師や添削指導の協力を得た。
・開催地の NPO からは、スクーリング会場の確保手続きや添削会場の提供等の協力を得た。
・開催地の飲食店(南米料理)からは、広報や提出課題の受取り等の協力を得た。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・開催地の自治体、日本語教室、外国人支援 NPO、飲食店の協力を得て、直接該当者にチラシを渡したり、口頭で伝えるなどの地道な広報が功を奏した。

(6) 改善点、今後の課題について

(津市)

・当団体＋外部講師の協力だけで講座の運営ができてしまうため、地元の自治体や国際交流協会などの関係団体を巻き込まずに進めてしまいがち。学びが充実するような接点を見つけて、関わっていききたい。

(知多市)

・運営側と受講者、および受講者同士の日頃のつながり(通信講座以外での関わり)を増やしてコミュニティの強化を促し、お互いに励ましあい協力し合いながら学習に取り組める風土をつくっていくことが必要。

(7) その他参考資料

・各種チラシ、修了証等別添